



SMBサーバの**NetBIOS**エイリアスを管理しま す。 ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

SMBサーバのNetBIOSエイリアスを管理します。	1
SMBサーバ用のNetBIOSエイリアスの管理の概要	1
SMBサーバにNetBIOSエイリアスのリストを追加する	1
NetBIOSエイリアスリストからNetBIOSエイリアスを削除する	2
CIFSサーバのNetBIOSエイリアスのリストを表示します。	3
SMBクライアントがNetBIOSエイリアスを使用して接続しているかどうかの確認	4

SMBサーバのNetBIOSエイリアスを管理します。

SMBサーバ用のNetBIOSエイリアスの管理の概要

NetBIOSエイリアスは、SMBクライアントがSMBサーバに接続するときに使用できるSMBサーバの別名です。SMBサーバのNetBIOSエイリアスを設定すると、他のファイルサーバのデータをSMBサーバに統合し、SMBサーバが元のファイルサーバの名前に応答するようにする場合に役立ちます。

NetBIOSエイリアスのリストは、SMBサーバの作成時、またはSMBサーバの作成後にいつでも指定できます。リストにNetBIOSエイリアスを追加または削除することはいつでもできます。SMBサーバには、NetBIOSエイリアスリスト内の任意の名前を使用して接続できます。

関連情報

[NetBIOS over TCP接続に関する情報の表示](#)

SMBサーバにNetBIOSエイリアスのリストを追加する

エイリアスを使用してSMBサーバに接続できるようにするには、NetBIOSエイリアスのリストを作成するか、既存のNetBIOSエイリアスのリストにNetBIOSエイリアスを追加します。

タスクの内容

- NetBIOSエイリアス名は15文字以内で指定します。
- SMBサーバには最大200個のNetBIOSエイリアスを設定できます。
- 次の文字は使用できません。

@ # * () = + [] | ; : " , < > \ / ?

手順

1. NetBIOSエイリアスを追加します。+vserver cifs add-netbios-aliases -vserver vserver_name -netbios-aliases NetBIOS_alias,...

```
vserver cifs add-netbios-aliases -vserver vs1 -netbios-aliases alias_1,alias_2,alias_3
```

- 1つ以上のNetBIOSエイリアスをカンマで区切って指定します。
- 指定したNetBIOSエイリアスが既存のリストに追加されます。
- NetBIOSエイリアスのリストが現在空の場合は、新しいリストが作成されます。

2. NetBIOSエイリアスが正しく追加されたことを確認します。vserver cifs show -vserver vserver_name -display-netbios-aliases

```
vserver cifs show -vserver vs1 -display-netbios-aliases
```

```
Vserver: vs1
```

```
Server Name: CIFS_SERVER  
NetBIOS Aliases: ALIAS_1, ALIAS_2, ALIAS_3
```

関連情報

[NetBIOSエイリアスリストからのNetBIOSエイリアスの削除](#)

[CIFSサーバのNetBIOSエイリアスのリストの表示](#)

NetBIOSエイリアスリストからNetBIOSエイリアスを削除する

CIFS サーバで特定の NetBIOS エイリアスが不要な場合、その NetBIOS エイリアスをリストから削除できます。リストからすべての NetBIOS エイリアスを削除することもできます。

タスクの内容

複数のNetBIOSエイリアスを削除するには、カンマで区切って指定します。パラメータの値に `-netbios -aliases`` を指定すると、CIFSサーバ上のすべてのNetBIOSエイリアスを削除できます `。

手順

1. 次のいずれかを実行します。

削除する項目	入力するコマンド
リスト内の特定の NetBIOS エイリアス	<pre>vserver cifs remove-netbios-aliases -vserver _vserver_name_ -netbios -aliases _NetBIOS_alias_,...</pre>
リスト内のすべての NetBIOS エイリアス	<pre>vserver cifs remove-netbios-aliases -vserver vserver_name -netbios-aliases -</pre>

```
vserver cifs remove-netbios-aliases -vserver vs1 -netbios-aliases alias_1
```

2. 指定したNetBIOSエイリアスが削除されたことを確認します。 `vserver cifs show -vserver vserver_name -display-netbios-aliases`

```
vserver cifs show -vserver vs1 -display-netbios-aliases
```

```
Vserver: vs1
```

```
Server Name: CIFS_SERVER  
NetBIOS Aliases: ALIAS_2, ALIAS_3
```

CIFSサーバのNetBIOSエイリアスのリストを表示します。

NetBIOSエイリアスのリストを表示できます。これは、SMBクライアントがCIFSサーバへの接続に使用できる名前のリストを確認する場合に役立ちます。

ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

表示する情報	入力するコマンド
CIFSサーバのNetBIOSエイリアス	<code>vserver cifs show -display-netbios -aliases</code>
NetBIOSエイリアスのリスト (CIFSサーバの詳細情報の一部)	<code>vserver cifs show -instance</code>

次の例は、CIFSサーバのNetBIOSエイリアスに関する情報を表示します。

```
vserver cifs show -display-netbios-aliases
```

```
Vserver: vs1  
  
Server Name: CIFS_SERVER  
NetBIOS Aliases: ALIAS_1, ALIAS_2, ALIAS_3
```

次の例は、NetBIOSエイリアスのリストを含む詳細なCIFSサーバ情報を表示します。

```
vserver cifs show -instance
```

```
Vserver: vs1  
CIFS Server NetBIOS Name: CIFS_SERVER  
NetBIOS Domain/Workgroup Name: EXAMPLE  
Fully Qualified Domain Name: EXAMPLE.COM  
Default Site Used by LIFs Without Site Membership:  
Authentication Style: domain  
CIFS Server Administrative Status: up  
CIFS Server Description:  
List of NetBIOS Aliases: ALIAS_1, ALIAS_2,  
ALIAS_3
```

詳細については、コマンドのマニュアルページを参照してください。

関連情報

[CIFSサーバへのNetBIOSエイリアスのリストの追加](#)

SMBクライアントがNetBIOSエイリアスを使用して接続しているかどうかの確認

SMBクライアントがNetBIOSエイリアスを使用して接続しているかどうか、および使用している場合はそのNetBIOSエイリアスを確認できます。これは、接続の問題をトラブルシューティングするときに役立ちます。

タスクの内容

SMB接続に関連付けられているNetBIOSエイリアス（ある場合）を表示するには、パラメータを使用する必要があります `-instance`。CIFSサーバの名前またはIPアドレスを使用してSMB接続を確立している場合、フィールドの出力 `NetBIOS Name`` は（ハイフン）になります ``-`。

ステップ

1. 必要な操作を実行します。

表示する NetBIOS 情報	入力するコマンド
SMBセツソク	<code>vserver cifs session show -instance</code>
指定した NetBIOS エイリアスを使用する接続：	<code>vserver cifs session show -instance -netbios-name netbios_name</code>

次の例は、Session ID 1とのSMB接続に使用されるNetBIOSエイリアスに関する情報を表示します。

```
vserver cifs session show -session-id 1 -instance
```

```
Node: node1
Vserver: vs1
Session ID: 1
Connection ID: 127834
Incoming Data LIF IP Address: 10.1.1.25
Workstation: 10.2.2.50
Authentication Mechanism: NTLMv2
Windows User: EXAMPLE\user1
UNIX User: user1
Open Shares: 2
Open Files: 2
Open Other: 0
Connected Time: 1d 1h 10m 5s
Idle Time: 22s
Protocol Version: SMB3
Continuously Available: No
Is Session Signed: true
User Authenticated as: domain-user
NetBIOS Name: ALIAS1
SMB Encryption Status: Unencrypted
```

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。